

AES IT Professional College
2018年度 研修コースのご案内



■福岡県情報サービス産業協会(FISA)タイアップ研修に関して

弊社は、福岡県情報サービス産業協会様とのタイアップ研修を実施しております。

コースの一部がタイアップとなっておりますので、福岡県情報サービス産業協会の会員企業様は割引価格で受講することができます。

下記へ直接お問い合わせください。弊社へ申し込まれましても割引価格とはなりません。

一般社団法人 福岡情報サービス産業協会

〒814-0001

福岡市早良区百道浜2-1-22 福岡SRPセンタービル3F

TEL 092-832-1344 / FAX 092-845-1003

■コースのより詳細な内容は、弊社ホームページをご覧ください。

<http://www.aso-education.co.jp/it/>

■人材開発支援助成金(旧 キャリア形成促進助成金)に関して

平成29年4月1日からキャリア形成促進助成金は人材開発支援助成金と名前が変更となりました。

詳細は厚生労働省のホームページをご覧ください。

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyou/kyufukin/d01-1.html

又、人材開発支援助成金については、福岡労働局(助成金センター)までお問合せください。

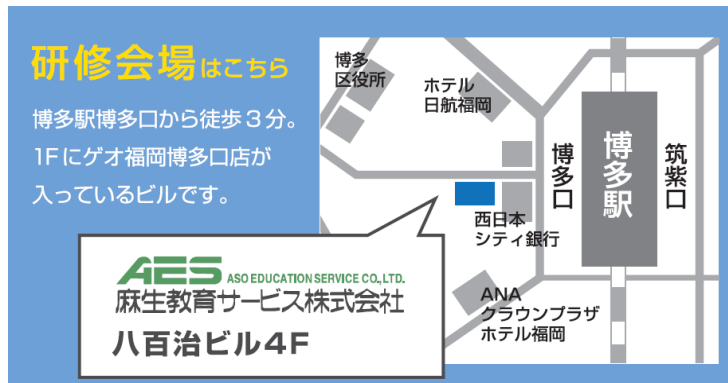
【福岡労働局(助成金センター)】

〒812-0013

福岡市博多区博多駅前博多東2-11-1 福岡合同庁舎本館1F

TEL: 092-411-4701(直)

■研修会場



〒812-0011
福岡市博多区博多駅前3-25-24
八百治ビル4F

麻生教育サービス株式会社
セミナールーム

■お申込み・お問い合わせ

○お申込みは弊社ホームページ(以下)からお願い致します。
http://www.aso-education.co.jp/service/training/it_training.html

○お申込み方法に関してのお問い合わせ
以下、弊社ホームページからお問い合わせいただけます。
<https://www.aso-education.co.jp/contact/inquiry/>
お電話でのお問い合わせは、092-409-7030

○講座内容に関してのお問い合わせ
以下、弊社ホームページからお問い合わせいただけます。
<https://www.aso-education.co.jp/contact/inquiry/>
お電話でのお問い合わせは、092-409-7030 担当:矢田(やだ)まで

■お申込み締切り・キャンセルに関して

- 受講お申込みの締切りはコース開始日の14日前になります。
- お申込み後のキャンセルは、以下のご負担をお願い致します。
 - 1.お申込みをキャンセルされる場合は、遅くともコース開始の7営業日前までにご連絡ください。それ以降のキャンセルについては、受講料の半額を請求させていただきます。
※営業日は、土・日・祝日・その他当スクール休日を除きます。
 - 2.コース開始の7営業日前以降の日程変更は、原則として出来かねますので、ご了承ください。
 - 3.定員になり次第締め切らせていただきます。
 - 4.受講料は、3営業日前までに必ずご入金ください。
ご入金の確認が取れない場合は、ご受講いただけない場合がございます。
 - 5.コースに欠席または当日にキャンセルした場合は、受講料全額を請求させていただきます。

■その他

- お申込み人数が最少催行人数(4名)に満たない場合は、コースの開催を中止する場合がございます。その際には、開催日の2週間前までには、その旨をご連絡いたします。予めご了承ください。
- カリキュラムは概略です。実際の研修では受講者のレベルやご希望により内容や進め方が変わることがありますので、予めご了承ください。

■ コーススケジュール

※参照項目が【Fxx】は、福岡県情報サービス産業協会(FISA)タイアップ研修です。

参照項目	コース名	実施時間	実施日	実施月							
				6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月以降

■ 統計

【F01A】	ソリューションの差別化戦略 ソリューション提案のための統計解析	3日間(21時間)	8/8~8/10			●							
【F02A】	ソリューションの差別化戦略 ビジネス統計分析アプリケーション作成入門	3日間(21時間)	7/18~7/20		●								

■ ヒューマンスキル

【F03A】	仕事の段取り力養成講座 (プロジェクト型業務の遂行能力を身につける)	2日間(14時間)	7/23~7/24		●								
【A04】	エンジニアのためのスキル強化 伝わる「書き方」「話し方」力向上	3日間(21時間)	7/25~7/27		●								
【A05】	ITプロジェクトにおけるチームマネジメント	2日間(14時間)	7/30~7/31		●								
【A06】	エンジニアのためのヒューマンスキル強化 コミュニケーション向上の秘訣	1日間(7時間)	8/21			●							
【F07A】	エンジニアのためのヒューマンスキル強化 問題分析技法とリーダーシップ	2日間(14時間)	9/10~9/11				●						
【A08】	「情報セキュリティ啓発」徹底講座	3日間(21時間)	9/19~9/21				●						
【F09A】	エンジニアのためのヒューマンスキル強化 交渉スキル向上のためのロジカルネゴシエーション	2日間(14時間)	11/8~11/9						●				
【A10】	ITプロジェクトにおけるリーダーシップ	2日間(14時間)	12/4~12/5								●		
【A11】	エンジニアのためのヒューマンスキル強化 ロジカルライティング&ロジカルシンキング	2日間(14時間)	H31/2/4~2/5										●

■ プロジェクトマネジメント

【F12A】	ケースで学ぶ ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント	2日間(14時間)	6/14~6/15	●									
【A13】	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける見積技法	2日間(14時間)	8/2~8/3			●							
【A14】	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント	2日間(14時間)	10/15~10/16					●					
【A15】	ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける品質マネジメント	2日間(14時間)	11/15~11/16						●				

■ アプリケーション関連

【F16A】	PHP によるWebアプリケーション実践開発	3日間(21時間)	6/4~6/6	●									
【A17】	Webアプリケーション開発における 攻撃に強いコード設計手法	1日間(7時間)	9/18				●						

■ データベース

【A18】	Microsoft SQL Server DBMSチューニング	2日間(14時間)	8/27~8/28			●							
【F19A】	パフォーマンスを上げるSQLチューニング	3日間(21時間)	H31/2/20~ 2/22										●

■ ネットワーク

【F20A】	2日で学ぶネットワーク基礎技術	2日間(14時間)	7/10~7/11		●								
【F21A】	2日で学ぶネットワーク応用技術	2日間(14時間)	9/4~9/5				●						

■ プログラミング

【A22】	New !! UnityとC#によるゲームプログラミング	3日間(21時間)	7/2~7/4		●								
【F23A】	C# ではじめるWindowsプログラミング	3日間(21時間)	10/1~10/3					●					
【A24】	ASP.NET MVC (C#編)	3日間(21時間)	10/10~10/12					●					
【F25A】	New !! Pythonの基礎と文章解析	3日間(21時間)	10/23~10/25					●					
【F26A】	Gitでのソースコード管理とLinux仮想環境構築	3日間(21時間)	11/19~11/21						●				

【F01A】ソリューションの差別化戦略 ソリューション提案のための統計解析

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
8/8～8/10
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

他社との差別化を図るため、お客様へのソリューション提案に統計解析を提案したいとお考えの方、小売や広報宣伝活動、マーケティングリサーチに統計的方法を使いたい方

3. カリキュラムの概要

統計解析の基本的な各種法について、その用途、計算方法、適用方法を通して解説し、種々の実データを用いた分析演習を行います。これらはプロジェクトの進捗管理や実績管理、売上予測や広告の効果測定、人事管理、市場分析など様々な局面で活用できます。面倒な計算部分はソフトウェアに任せ、より重要な「統計を何にどう使うか」に重点を置くことで、即効性を高めた研修です。

4. カリキュラムの詳細

		3日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目 2日目 3日目	統計の基本	1.5	度数分布や代表値など、統計の基本を解説します。
	相関と回帰	1.5	二軸のデータについて散布図・相関・回帰を調べ、その値を意味や補間・補外の扱い方を解説します。
	確率変数と確率分布	2.0	確率分布、期待値、分散、標準偏差、正規分布、二項分布など、統計解析に必須の各種数値について解説します。
	推定	2.0	母平均、母分散、母比率の点推定・区間推定について解説します。一部のデータから全体の様子を推定したい時に用います。
	検定	3.0	母平均、母分散、母比率、母平均の差、母分散の比の検定について解説します。これは集団の差の有無や、施策の効果測定に用います。
	多変量解析	3.0	重回帰分析、主成分分析、判別分析などの多変量解析について解説します。これは、複数の広告媒体のそれぞれがどの程度役に立ったか、また多数の条件がそれぞれどの程度影響を持っていたかなどを調べるために用います。
	応用演習	2.0	ここまでで学んだ各種の手法を用いて、実際に様々な分析を行い、データから有意な情報を読み取る実習を行います。
	アプリケーション実装	2.0	代表値算出・相関/回帰計算・推定・検定・多変量解析など、高度な数式をアプリケーションに実装する技法について解説します。
	アプリケーション実装演習	4.0	実際にデータを使用して、アプリケーション実装演習を行います。
	計	21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

自由国民社:Excelでできるらくらく統計解析

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・統計解析を必要とする企業活動を行う顧客に、統計解析を組み込んだ応用アプリケーションシステムについて提案できる。
- ・様々な統計解析の手法を理解する。
- ・統計解析を行った結果について、そこから適切な情報を得、各種業務改善提案に活用できる。
- ・統計解析手法について、その優位性を理解し、必要とする人に解説することができる。

7. 前提知識

Microsoft Excelの基本的な使用方法が理解できていること。マクロ編集の経験があることが望ましい。

【F02A】ソリューションの差別化戦略 ビジネス統計分析アプリケーション作成入門

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格: 66,600円 (非会員価格: 74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
7/18～7/20
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

お客様向けソリューション・システム機能の1つとして統計分析機能を提案・実装したいとお考えの方、データベースのプログラムによる統計分析機能を実装したいとお考えの方

3. カリキュラムの概要

CSVデータやデータベース上のデータを対象に、VBAやExcelマクロ機能を用いて統計分析機能を実装する方法を学び、実際に簡単なアプリケーションを作成します。また、ビジネス上有用な分析を行い、これを報告書の形にまとめます。フロントエンドにはExcelを使用しますが、VBA以外での活用もできるよう、ナビゲートします。また、詳細に分析するためのR言語の紹介及び統計資格試験についてもご紹介いたします。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目 2日目 3日目	統計の基本	1.0	本講座の概要と統計の基本について解説します。
	Excelマクロ	1.0	マクロの基本的な使用方法について解説します。
	VBAを利用する	1.5	VBEの基本的な操作とVBAの基礎について解説します。
	データベースの利用	1.5	データベースからのデータ取得について解説します。
	条件付き書式によるデータの視覚化	1.0	ワークシート上に条件付き書式を設定し、データの視覚化する方法を解説します。
	グラフによるデータの視覚化	2.0	グラフの作り方や書式設定、マクロによるグラフ操作について解説します。
	Zチャート	1.0	Zチャートで業績の傾向を見る方法について解説します。
	ファンチャート	1.0	ファンチャートでヒット商品を見つけ出す方法について解説します。
	ABC分析	1.0	ABC分析で重点販売商品を見つけ出す方法について解説します。
	散布図	1.0	散布図で販売予測を行う方法について解説します。
	バブルチャート	1.0	バブルチャートで販売戦略を練る方法について解説します。
	ピボットテーブル	2.0	ピボットテーブルで売り上げやアンケート結果を集計する方法について解説します。
	統計アプリケーションの作成	3.0	これまでに学んだことをフルに活用して、統計分析アプリケーションの作成を行います。
	報告書の作成	3.0	データを元にこれまでの分析方法を活用して、魅せる報告書の作り方を解説します。
	計	21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

マイナビBooks: Excel VBAでデータ分析

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

- ・統計解析を必要とする企業活動を行う顧客に、統計解析を組み込んだアプリケーションシステムについて提案できる。
- ・VBAを用いた統計解析の手法を理解する。
- ・データソースから取得したデータを統計分析し視覚化、報告書作成までの導線を理解する。
- ・統計解析手法について、その優位性を理解し、必要とする人に解説することができる。

7. 前提知識

Microsoft Excelの基本的な使用方法が理解できていること。マクロ編集の経験があることが望ましい。

【F03A】仕事の段取り力養成講座 (プロジェクト型業務の遂行能力を身につける)

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

1~2
 FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 9:30~17:30 2日間(14時間)
 7/23~7/24
 麻生教育サービス セミナールーム
 (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

特になし

3. カリキュラムの概要

プロジェクトマネジメントの国際標準知識体系PMBOKをベースに、プロジェクト型業務での段取りの流れと考慮すべき視点を解説します。さらに、それを実際の現場においてどのように適用すればいいのかを解説します。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. ビジネスを理解する	1.0	◆現在のビジネスがおかれている環境、業務の種類と特徴
	2. 仕事のPDCAサイクル	2.0	◆PMBOK、各種問題解決技法
	3. 業務の立ち上げ	2.0	◆業務目的と目標の明確化
	4. 業務計画	3.0	◆成果物と作業タスクの洗い出し ◆リスクの洗い出しと対策の検討 ◆作業スケジュール計画、コスト計画、品質計画、要員計画、発注計画、ステークホルダー分析とコミュニケーション計画
2日目	5. 業務の実行・コントロール	2.0	◆実績の収集と是正 ◆見える化 ◆問題の発見と問題発生時の対処
	6. 業務の終結	4.0	◆教訓のまとめと報告 ◆グループ演習:進捗管理(演習→発表→解説) ◆まとめ
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
 ※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「仕事の段取り力」 株式会社オフィス新 作成

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・自身のビジネスの特徴と問題点を明らかにする。
- ・プロジェクト型業務で考慮すべき視点(スコープ、タイム、コスト、品質、要員、協力会社、コミュニケーション、リスク)を理解する。
- ・プロジェクト型業務の流れである、立ち上げ、計画、実行・コントロール、終結の各段階において、どのようなことを段取り(計画)し、作業を進めていかなければならないのかを理解する。

7. 前提知識

特になし

【A04】エンジニアのためのスキル強化 伝わる「書き方」「話し方」力向上

1. 研修要領

・ITSS	1～2
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	74,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 3日間(21時間)
・研修実施日	7/25～7/27
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

ドキュメンテーション、プレゼンテーション技能を伸ばしたいとお考えのエンジニアの方

3. カリキュラムの概要

エンジニアにこそ、文章能力が必要です。また、エンジニアの考え、プロジェクトの進行状況、技術的な見解の表明など、エンジニアでないとの確かな分析ができないことを文章に表現する技能、及びその話し方について、実践的な演習と共に学びます。上流SEやリーダーへのキャリアパスに活用してください。大好評の講座がパワーアップして登場です。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	「わかりやすく書く」ためのコツ	2.0	文章をわかりやすく書くためのテクニックを、6つのポイントで押さえます。
	書く力を向上させよう	3.0	文章力を向上させるための方法論について学びます。
	文書の役割	2.0	ワークフローの中での文書の役割について考えます。
2日目	ドキュメント構造化事例	2.0	IT関連ドキュメントの構造化事例を紹介します。まずはこの書き方を身につけましょう。
	認知情報処理モデル	2.0	人間がどのように認知し、情報処理を行うのか、そのモデルについて学ぶことによって、より伝わりやすいドキュメントの書き方を考察します。
	ドキュメンテーションの先にあるもの	3.0	ドキュメンテーションだけでは改善しないコミュニケーションについて、その技法を学ぶことで別の角度から学びます。
3日目	ドキュメンテーションの指導	3.0	自分だけではなく、同僚・部下に対して改善を促すことについて考察します。
	総合演習	4.0	実践的な題材についてドキュメンテーションの実習を行い、事項伝達の訓練を行います。
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

技術評論社：＜文章嫌いではすまされない！＞エンジニアのための伝わる書き方講座

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・何をすればわかりやすい文章が書けるようになるのか、その具体的な訓練方法を身に付ける。
- ・人間がどのように情報を認知し、理解するのかを学ぶことにより、わかりやすい文章を書くための指針を得る。
- ・分かりやすい文章の具体例を分析し、その中で用いられている手法を理解できる。
- ・他人に対して、分かりやすい文章を書くための具体的な指導方法が身につく。
- ・「必要なことを他人に伝達する」ためのプレゼンテーション技法が身につく。

7. 前提知識

エンジニアとしての実務経験があること。

【A05】ITプロジェクトにおけるチームマネジメント

1. 研修要領

・ITSS	2～3
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	7/30～7/31
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

中堅社員対象 リーダー、サブリーダーの方

3. カリキュラムの概要

ソフトウェア開発プロジェクトを成功に導く“要”は、メンバ個々が持つ力を発揮させてプロジェクトを推進する“チーム力”と言えます。そのためのソフトウェア開発のプロジェクトマネジメントを基盤として、リーダ(又は、マネージャ)が実践の場でチーム力を引き出すための“チームマネジメント力”を習得します。

4. カリキュラムの詳細

		2日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目	1. プロジェクトマネジメントの基礎	2.0h	◆ プロジェクトマネジメント ・PMBOK概要 ・人的資源マネジメントの概要
	2. リーダーシップ理論とコーチング	5.0h	◆ リーダーシップ理論 ・PM理論と状況リーダーシップ論 ◆ リーダーとコーチング ・リーダーのあり方とコーチング 【ワークショップ】
2日目	3. チームマネジメント	5.0h	◆ チームマネジメント ・チームマネジメントとは ・チームの発展段階に対応 ・成果を上げるための課題
	4. チームを作る	2.0h	◆ チームを作る ・チームメンバーと一緒に働く ・リーダーとしてチームを作る ・チーム力を高める 【ワークショップ】
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「ITプロジェクトにおけるチームマネジメント」

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・リーダーとしてのリーダーシップを身に付ける。
- ・チーム力を発揮させるチームマネジメントを身に付ける。

7. 前提知識

チームでのシステム開発経験が3年以上あること。

【A06】エンジニアのためのヒューマンスキル強化 コミュニケーション向上の秘訣

1. 研修要領

・ITSS	1～2
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	38,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 1日間(7時間)
・研修実施日	8/21
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

特になし

3. カリキュラムの概要

ITエンジニアには、顧客から要求を聞き出す、顧客にソリューションをプレゼンする、プロジェクトチーム内で会議を行うなど、様々な場面で効果的なコミュニケーションが求められます。本コースでは、コミュニケーションの考え方を理解するとともに、演習を通してITエンジニアに必須の基本的なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。

4. カリキュラムの詳細

1日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	ITエンジニアとコミュニケーション	0.5	ソフトウェア開発とコミュニケーション、様々なステークホルダー、人間関係を良くするには
	コミュニケーションの基本	0.5	コミュニケーションの流れ、コミュニケーションの基本モデル、コミュニケーション・バリア、バーバル/ノンバーバルコミュニケーション
	聴く、話す	1.0	聴くときの留意点、話すときの留意点 【演習:聴く、話す】
	様々なタイプのステークホルダーとの対応	1.0	【演習:様々な価値観】
	強い現場とは	1.0	強い会社は経営と現場が両輪で支え合う、個が輝き響き合うチームの要素
	モチベーションを維持する	1.0	内発的モチベーションと外発的モチベーション、目標とモチベーション、モチベーション向上の流れ
	効果的なリーダーシップ	1.0	若手でもリーダーシップは発揮できる、リーダーシップの機能、様々なリーダーシップ理論 【演習:リーダーシップ】
	コミュニケーションを支える各要素の概要	0.5	ロジカルシンキング、ドキュメンテーション、プレゼンテーション
	まとめ、ふりかえり	0.5	
	計	7.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「ITエンジニアのためのコミュニケーション」

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・ソフトウェア開発におけるコミュニケーションの重要性を理解する。
- ・コミュニケーション基本モデルを理解する。
- ・聴く、話すというコミュニケーションの基本スキルを習得する。
- ・様々なタイプのステークホルダーの存在を認め、対応方法を身に付ける。
- ・リーダーとリーダーシップの違いと誰でもリーダーシップを発揮できることを理解する。
- ・コミュニケーションを構成する主要要素とのポイントを理解する。

7. 前提知識

特になし

【F07A】エンジニアのためのヒューマンスキル強化 問題分析技法とリーダーシップ

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
9/10～9/11
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

リーダー、サブリーダーの方及びこれからなられる方

3. カリキュラムの概要

ソリューション提案に必要な問題分析技法と討議や会議でのセッション・リーダーとして、効果的なファシリテーションを行うことができるリーダー育成を目標とした研修です。また、問題解決型セッションに関して、自分の強み、弱みを認識し、必要な改善をすることができます。

4. カリキュラムの詳細

		2日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目	1. 問題解決プロセスと問題のタイプ	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ はじめに <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決はどのように行うのが良いのか? ・効果的な会議 ◆ 問題解決プロセス ◆ 問題のタイプと問題解決の構造 ◆ ファシリテーションとリーダー
	2. 問題の把握	2.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題の共通理解 ◆ 問題の把握と現象の評価 ◆ ゴールとターゲット
	3. 原因の明確化	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 原因の明確化 ◆ ロジックツリー ◆ MECE ◆ 収束のためのガイド
2日目	4. 解決策の策定と評価	1.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 解決策の策定 ◆ 解決策の評価
	5. ファシリテーション・リーダー	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 問題解決型会議とセッション ◆ ファシリテーションリーダーの役割と考慮点 ◆ 思考法と 発散と収束の使い分け
	6. ファシリテーション演習	3.0	【問題解決型セッションの演習】
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「問題分析技法とリーダーシップ」

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・IT技術者として必要な基本的な思考を身に付ける。
- ・グループでの問題解決セッションにおけるリーダーシップ力を身に付ける。
- ・ソフトウェア開発における問題分析力を身に付ける。

7. 前提知識

チームでのシステム開発経験が3年以上あること。

【A08】「情報セキュリティ啓発」徹底講座

1. 研修要領

・ITSS	1～2
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	74,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 3日間(21時間)
・研修実施日	9/19～9/21
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

情報セキュリティを推進・啓蒙していく立場の人、情報セキュリティマネジメント試験に興味のある人

3. カリキュラムの概要

現在は、非IT系企業であっても、十分な情報セキュリティ対策を求められる時代です。もちろん、ITベンダ企業の皆様は重々承知のことと思います。しかし、ベンダ側でしっかりしたシステムや運用体制を構築したとしても、クライアント企業の末端まで浸透させることは困難です。一度、セキュリティインシデントが発生すると、対応に膨大なマンパワーとコストを費やすことになります。

そこで本講座では、セキュリティリスクの中でも特に人的セキュリティリスクに焦点をあてて、「何故、セキュリティ啓発をしなくてはならないか」「どのようにセキュリティ啓発教育を行えばよいか」というテーマを3日間で徹底的に追及します。また、情報セキュリティマネジメント試験対策の導入講座にもなります。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1.情報セキュリティの概要	0.5	情報セキュリティとは何か、その概要を解説し、本講座の趣旨を解説します。
	2.情報セキュリティ基礎	3.0	マルウェアや不正プログラム、サイバー攻撃手法について学びます。
	3.情報セキュリティ管理	3.5	情報セキュリティマネジメント、情報資産の管理、リスク管理、運用、情報セキュリティ継続、セキュリティ評価について学びます。
2日目	4.情報セキュリティ対策	5.0	人的セキュリティ対策、技術的セキュリティ対策、物理的セキュリティ対策について学びます。
	5.情報セキュリティ技術	1.5	セキュリティ実装技術について学びます。
	6.情報セキュリティ関連法規	0.5	知的財産権関連法規、情報セキュリティ関連法規について学びます。
情報セキュリティ関連法規 -つづき-	1.5		
3日目	7.問題演習	3.0	情報セキュリティマネジメント試験の午後問題を利用して問題演習を行います。
	8.多人数に向けた話し方	2.5	
	計	21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ・よくわかるマスター情報セキュリティマネジメント試験対策テキスト&過去問題集
- ・オリジナル教材

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・今後益々増えるであろう脅威に対し、職場において情報セキュリティを認識した行動及び指導ができる。
- ・情報セキュリティマネジメント試験の中核範囲について理解できる。
- ・「企業の情報資産を守る」ことについて、何から手を付けていけば良いのかが分かる。
- ・各種セキュリティ対策の方法と、その実施・運用管理の具体的な方法が分かる。
- ・各種セキュリティ啓発・人的教育の方法が分かる。

7. 前提知識

特になし

【F09A】エンジニアのためのヒューマンスキル強化 交渉スキル向上のためのロジカルネゴシエーション

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3

FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)

9:30～17:30 2日間(14時間)

11/8～11/9

麻生教育サービス セミナールーム

(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

ビジネスにおける交渉の基礎力を強化したい方。

3. カリキュラムの概要

ソリューション提案などビジネスにおける交渉の基礎力を強化したい方を対象とした、交渉力強化コースです。お客様との交渉を主体としての交渉プロセスと交渉技法を身につけることを目的とした研修です。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. ロジカルネゴシエーション概要	3.0	◆ ネゴシエーションとは ◆ ロジカルネゴシエーションとは ◆ ロジカルネゴシエーションのステップ
	2. 論理的に説明する	4.0	◆ ロジカルシンキングの基礎 ◆ 論理的順序法 ◆ 論理的な話しの展開 【ワークショップ】
2日目	3. 相手の理解	3.0	◆ 相手の納得のため ◆ ビジネス・ウィンとパーソナル・ウィン ◆ 言動による行動特性
	4. 納得してもらえる説得方法	4.0	◆ 説得の場での考慮点 ◆ 相手が納得する話し方・聞き方 ◆ 感情の取り扱い ◆ 応酬話法 【ワークショップ】
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「交渉スキル向上のためのロジカルネゴシエーション」

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

社内外を問わず、ビジネスにおける必須の交渉スキルの基本を身に付ける。

7. 前提知識

特になし

【A10】ITプロジェクトにおけるリーダーシップ

1. 研修要領

・ITSS	2～3
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	12/4～12/5
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

スケジュールへ

2. 対象者

中堅社員対象以上リーダー、技術営業 プロジェクトマネージャをはじめとするプロジェクトを推進管理に携わられる方。

3. カリキュラムの概要

チーム全体の総合力を発揮させる為に、自己認識と対人及びチーム内コミュニケーションのあり方を通して、コミュニケーションとリーダーシップの技術を習得するコースです。実践ポイント講義と個人演習やグループ討議を交えながら、自己の持つリーダーシップ能力(マネジメント能力)を自ら高めます。

4. カリキュラムの詳細

		2日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目	1. リーダーとリーダーシップ	3.0	◆ リーダーシップとは ・リーダーの問題とリーダーシップ
	2. コミュニケーションとリーダーシップ	4.0	◆ コミュニケーション ・コミュニケーションの特徴と基本的諸要素 ・傾聴のポイントと伝えるスキル(フィードバックスキル) 【ワークショップ】
2日目	3. 機能的リーダーシップ	4.0	◆ 機能的リーダーシップ ・機能的リーダーシップとは ・PM理論
	4. リーダーのあり方	3.0	◆ リーダーのあり方 ・リーダー行動のスタイル ・リーダーのマネジメント能力 ◆ EIとリーダーシップ ・EIとEQ (Emotional Intelligence Quotient) ・リーダーシップ・スタイル 【ワークショップ】
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト 「ITプロジェクトにおけるリーダーシップ」

スケジュールへ

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

プロジェクトメンバーの能力を活かしたリーダーシップを身に付ける。

7. 前提知識

エンジニアとしての実務経験があること。

【A11】エンジニアのためのヒューマンスキル強化 ロジカルライティング&ロジカルシンキング

1. 研修要領

・ITSS	1～3
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	H31/2/4～2/5
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

ビジネスでの思考力とドキュメント力を強化したい方

3. カリキュラムの概要

論理的な思考「ロジカル・シンキング」とそれに伴う論理的な文書(わかりやすい文書)を書く「ロジカル・ライティング」を身に付け、上司やチーム、顧客などに対して、コミュニケーションを採ることができることを目標とします。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. ロジカルライティングの基本	6.0	◆ 開発業務における文書とは ・ビジネス文書と技術文書 ◆ 誤解のない文章 ・書き方の基本とビジュアル化 ◆ IT技術者とドキュメント ・IT技術者としてのドキュメント ・論理的に整理する 【演習】
	2. ロジカル・シンキングの基本	1.0	◆ 発散と収束 ・発散技法と収束技法
2日目	ロジカル・シンキングの基本 -つづき-	5.0	◆ 問題を解決する ・問題解決のプロセス ・構図による分析 ◆ 論理的に整理する ・3種類のツリー ・ロジックを組立てるアプローチ ・論理展開 【演習】
	総合演習	2.0	【解決策の立案演習】
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト「ロジカルライティング&ロジカルシンキング」

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

- ・論理的な分析や組み立ての基本が身に着く。
- ・誰にでも分かり易い文書を書くことができる。
- ・ストーリーの作り方、図解の表現の仕方のスキル向上。

7. 前提知識

特になし

【F12A】ケースで学ぶ ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

1～2
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
6/14～6/15
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

3年以上

3. カリキュラムの概要

プロジェクトのメンバやサブリーダーが、プロジェクト管理は何をすべきなのか(What)、どうやればいいのか(How to)を理解し、更にケーススタディを通して、プロジェクト管理の理解を深めることができる研修です。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. プロジェクトマネジメントの状況	1.0	◆ITプロジェクトの成功率 ◆失敗プロジェクトの考察 ◆失敗する要因 ◆成功するプロジェクトを増やすには
	2. プロジェクトマネジメントの全体像	2.0	◆プロジェクトの目的、特徴、体制 ◆プロジェクトリーダーの役割 ◆プロジェクトを取り巻く標準規格(PMBOK、ISO9000、CMMI、BABOK、ITIL)
	3. プロジェクトマネジメントプロセスの全体像	2.0	◆立ち上げ、計画、実行、監視・コントロール、終結
	4. プロジェクトの立ち上げ	3.0	◆営業活動と開発プロジェクト ◆契約に関する基礎知識、留意点
2日目	5. プロジェクトの計画	2.0	◆プロジェクト計画書に記述すべきこと
	6. プロジェクトの実行／監視・コントロール	2.0	◆スコープマネジメント(仕様確定の流れ、変更管理) ◆タイムマネジメント(進捗管理)
	7. 終結	2.0	◆プロジェクト完了報告と教訓共有(定性的、定量的)
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトにおけるプロジェクトマネジメント」株式会社オフィス新 作成

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・IT業界におけるプロジェクトマネジメントの現状と課題 について理解する。
- ・プロジェクトマネジメントの国際標準知識体系PMBOKの基礎を理解する。
- ・PMBOKの体系に沿い、IT開発プロジェクトにおける、立ち上げ(提案、見積、契約)、計画(プロジェクト計画策定)、実行・コントロール(Q(品質)、C(予算)、D(進捗)、要員、協力会社の管理など)、終結(プロジェクト完了報告)における具体的な用語、手順、留意点 を理解する。

7. 前提知識

特になし

【A13】 ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける見積技法

1. 研修要領

・ITSS	3～4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	8/2～8/3
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

プロジェクト型業務に従事する方、管理する方 / ITプロジェクトを支援する関連部署に所属する方

3. カリキュラムの概要

本コースでは、見積ミスを防ぐために、まずはどのような見積技法があるのか、その具体的な方法はどうか、技法の適用にはどのような留意点があるのか等の知識を習得した上で、自組織の現場で検証・経験値として蓄積し、見積精度を高めていく方法を習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.見積もりとは	2.0	◆ITプロジェクトの見積もりを取り巻く環境 ◆良い見積もりとは？ ◆様々な見積もり技法 ◆見積もりとプロジェクトマネジメントの関係
	2.見積もりの準備	0.5	◆最初にやるべきこと ◆メトリクスを選定
	演習1 標準値法による見積	0.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	3.規模見積もり	4.0	◆標準値法について ◆FP法によるデータ・ファンクションの計測 ◆FP法によるトランザクション・ファンクションの計測 ◆FP法の派生手法
	演習2 規模見積もり:FP法	3.0	◆演習問題説明 【演習／発表】
	4.工数見積もりと期間見積もり	1.0	◆係数モデルによる工数見積もり ◆WBSによる工数見積もりと期間見積もり ◆保守開発における工数見積もり
	5.コスト見積もりと価格の設定	0.5	◆コスト見積もり ◆リスク分析と価格の設定
2日目	演習3 工数・コスト見積もりとPJ計画への反映	0.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	6.見積書の作成と組織的な取り組み	0.5	◆見積書の作成 ◆組織的な取り組み
	7.見積もり査定	0.5	◆見積もり査定
	8.まとめ、総括	0.5	◆まとめ、ふりかえり
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトの見積技法」 株式会社オフィス新 作成

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

ITプロジェクトにおける見積技法を身に付ける。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【A14】 ケースに学ぶ ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント

1. 研修要領

・ITSS	3～4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	10/15～10/16
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

スケジュールへ

2. 対象者

プロジェクト型業務に従事する方、管理する方 / ITプロジェクトを支援する関連部署に所属する方

3. カリキュラムの概要

本コースでは、ITプロジェクトにおけるリスクマネジメントの考え方を習得した上で、ケーススタディを通して、実践の場で注意すべきリスクの視点を養い、どのように対策を打つべきかを習得します。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.ITプロジェクトを取り巻く状況	0.5	◆厳しさを増すITプロジェクト環境 ◆システム開発PJの成功率 ◆成功するプロジェクトを増やすには
	2.プロジェクトマネジメントにおけるリスクマネジメントの位置づけ	0.5	◆PMBOKとは ◆ITシステム開発とPMBOKの関係 ◆プロジェクトマネジメントの全体イメージ
	3.リスクマネジメントとは	1.0	◆リスクマネジメントとは ◆失敗したプロジェクトでは・・・ ◆リスクマネジメントの位置付け ◆リスクマネジメントの効果 ◆リスクの種類 ◆システム開発のリスク事例
	4.リスクマネジメントのプロセス	0.3	◆PMBOKにおけるリスクマネジメントの流れ ◆リスクマネジメントのプロセス概要 ◆リスクマネジメントのイメージ ◆リスクを管理する工程
	5.リスクマネジメント計画	0.3	◆リスクマネジメント計画
	6.リスクの識別	1.0	◆リスク要因とリスク事象 ◆リスクの表現について ◆リスク識別のツールと技法 ◆リスク分類例 ◆記載しにくいリスクも記述する
	演習1 リスクの識別	3.0	◆演習問題説明 【演習／発表】
2日目	7.リスクの定性的分析	1.0	◆定性的分析のリスクスコア算出方法 ◆リスク評価尺度の例 ◆発生確率・影響度マトリクス
	8.リスクの定量分析	0.3	◆リスクの定量的分析の方法 ◆定量的分析の効果と重要性
	9.リスク対応計画	0.5	◆予防対策と発生時対策 ◆リスク対応策の立案方針 ◆リスク対応戦略 ◆二次リスクの検討 ◆リスク管理表の記述例
	10.リスクの監視・コントロール	0.3	◆リスク監視・コントロールの狙い ◆リスクマネジメントサイクルの繰り返し ◆組織内での教訓共有
	演習2 リスク対応策の検討	4.0	◆演習問題説明 【演習／発表】
	11.まとめ、総括	1.0	◆まとめ
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ITプロジェクトにおけるリスクマネジメント」 株式会社オフィス新 作成
(注)テキストは変更する場合があります。

スケジュールへ

6. 到達目標

プロジェクトにおけるリスクマネジメント力を身に付ける。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【A15】ケースに学ぶ ITプロジェクトにおける品質マネジメント

1. 研修要領

・ITSS	3～4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	11/15～11/16
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

プロジェクトを遂行する上で、どうすれば品質を担保し、客先に対して品質が高いということを説得することができるかをケーススタディを通して習得します。

4. カリキュラムの詳細

		2日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目	0.オリエンテーション	0.5	◆プロローグ ◆自己紹介
	1.ITプロジェクトとソフトウェア品質	0.3	◆品質問題の考察 ◆ソフトウェア品質を向上させるには
	2.品質についての基礎知識	0.5	◆品質の定義 ◆品質の2つの側面 ◆品質とコスト ◆品質マネジメントの基本的な考え方
	3.ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性	0.5	◆ソフトウェア品質の特徴と課題 ◆問題解決コストは下流工程になるほど増大する ◆データで品質を語ることで、品質改善が進む
	4.ソフトウェアの品質とは	0.5	◆ソフトウェアの品質とは ◆成果物の品質尺度 ◆作業の品質尺度 ◆ソフトウェアのバグとは
	5.ソフトウェア品質管理の全体像	0.3	◆ソフトウェア品質管理の全体像 ◆高品質ソフトウェア実現に向けた活動の要点 ◆各開発工程における品質保証の観点
	6.品質計画	0.5	◆プロジェクト計画と品質計画 ◆品質計画の基本方針 ◆品質目標値の設定 ◆品質データの収集
	演習1 品質目標値の設定	1.0	◆演習ケース説明、問題説明 【演習／発表】
	7.品質保証	1.0	◆品質保証体系 ◆レビューの目的と留意事項 ◆テスト技法の種類 ◆テスト計画 ◆テスト網羅性の観点
	演習2 テスト設計書の評価	1.0	◆演習問題説明 【演習／発表】
2日目	8.品質管理	1.0	◆品質管理の概要 ◆品質データ分析の実施 ◆レビュー速度とバグ密度の関係 ◆テスト密度とバグ密度の関係 ◆テスト工程におけるゾーン分析の例 ◆バグ管理曲線
	演習3 製造完了時における品質見解	2.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	演習4 総合テスト途中における品質見解	2.5	◆演習問題説明 【演習／発表】
	10.品質改善活動	1.0	◆改善の積み重ねが現場力を磨く ◆改善活動のフレームワーク ◆改善活動の2つのアプローチ ◆QC7つ道具、新QC7つ道具
	11.PJ完了時における教訓の整理と共有	0.5	◆プロジェクト完了報告 ◆ヨコテンでチームの成果を組織の成果に
	12.まとめ	0.5	◆まとめ ◆ふりかえり
		14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント」株式会社オフィス新 作成
(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

ITプロジェクトにおける品質マネジメントの計画および管理ができるようになる。

7. 前提知識

プロジェクトの実施経験があること。

【F16A】PHP によるWebアプリケーション実践開発

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

1～2

FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)

9:30～17:30 3日間(21時間)

6/4～6/6

麻生教育サービス セミナールーム

(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

特になし

3. カリキュラムの概要

PHPスクリプト言語の基本文法に関して学習し、演習を通してプログラミングスキルを習得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. PHPの基本文法	3.0	◆変数 ◆繰り返し ◆条件分岐 【演習】
	2. ファイルとディレクトリ	4.0	◆PHPで作成するアプリケーションをどのようなディレクトリ構成にするか 【演習】
2日目	3. オブジェクト指向	3.0	◆オブジェクト指向の基本的な考え方とPHPの中でどのように実装され利用していくか 【演習】
	4. Webアプリケーション	4.0	◆実際にサーバに配置しwebアプリケーションとして動作することを確認 【演習】
3日目	5. データベース	4.0	◆RDBの基本と、PHPからアクセスしデータを取得したり、保存する方法 【演習】
	6. セキュリティ	3.0	◆アプリケーションに必須のセキュリティについて適切に設定する方法 【演習】
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

PHP7+MariaDB/MySQLマスターブック

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

- ・PHPの基本的な文法を説明できる。
- ・PHPで作成するアプリケーションの構成について説明できる。
- ・オブジェクト指向について理解できる。
- ・PHPを用いて、Webアプリケーションを作成できる。
- ・データベースを利用してデータ保存、検索ができる。

7. 前提知識

コンピュータの基礎知識

【A17】Webアプリケーション開発における 攻撃に強いコード設計手法

1. 研修要領

・ITSS	3~4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	38,000円
・研修実施時間	9:30~17:30 1日間(7時間)
・研修実施日	9/18
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

Webアプリケーション開発者。

3. カリキュラムの概要

Webアプリケーションは、外部からの攻撃の標的となるため、プログラム開発においてセキュリティを考慮した設計およびコードの記述が必要になります。本研修はJava言語に関してセキュアな開発を行う手法を学習します。

4. カリキュラムの詳細

1日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	webアプリケーションの脆弱性	1.0	◆脆弱性とは ◆脆弱性の事例と被害
	脆弱性の事例	2.5	◆クロスサイトスクリプティングとは ◆SQLインジェクションとは ◆CSRFとは
	対策	2.5	◆それぞれの脆弱性についての対応方法
	認証	1.0	◆認証機能 ◆ヒューマンエラーへの対応
		7.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・Webアプリケーションにありがちな脆弱性とその弊害を理解する。
- ・サーバサイドJavaで行いがちな脆弱性を理解する。
- ・堅牢なコードを記述する方法を理解する。

7.前提知識

Webアプリケーションの開発経験があること。

【A18】 Microsoft SQL Server DBMSチューニング

1. 研修要領

・ITSS	3~4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	58,000円
・研修実施時間	9:30~17:30 2日間(14時間)
・研修実施日	8/27~8/28
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

MS SQL Serverを用いて開発を行なっている方。

3. カリキュラムの概要

MS SQL ServerのDBMSをチューニングすることにより、DBのパフォーマンスを向上させる方法を解説いたします。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	SQLServer概要	3.0	◆SQLServerの特徴 ◆主なツールの使い方などを確認する。
	効果的なSQLの書き方 1	4.0	◆SQL文のよくある悪い書き方を考える ◆SQL文を書き換えて効率を上げる
2日目	効果的なINDEXの作成	3.0	◆SQLServerのINDEXについて学ぶ ◆効果的なINDEXの記述方法を学ぶ
	環境設定	4.0	◆パラメータチューニングを考える ◆ハードウェアも含めた環境設定を考える
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。

※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

SQL Server 2016の教科書 開発編

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・SQLServerの特徴を理解する。
- ・効果的なチューニング方法を理解する。

7. 前提知識

MS SQL Serverの利用経験があること。

【F19A】パフォーマンスを上げるSQLチューニング

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

3～4
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
H31/2/20～2/22
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

基礎的なSQL文について理解できており、SQLのパフォーマンスがいまいち出ないと思われる方

3. カリキュラムの概要

データベース応用システムのパフォーマンス向上に即効性のあるSQLの書き方、インデックスの使用方法について詳細に解説します。またDBMSのアーキテクチャについて詳細に解説します。SQLを既に利用しているエンジニアの方が、DBMSの構造を理解した上で、さらに深くSQLを効率的にかつ効果的に利用できるような学習します。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目 2日目 3日目	1.SQLチューニング(1)	6.0	◆DBMSのアーキテクチャ ◆SQLの基礎 ◆SQLにおける条件分岐
	2.SQLチューニング(2)	6.0	◆集約とカット ◆ループ/結合 ◆サブクエリ
	3.SQLチューニング(3)	5.5	◆SQLにおける順序 ◆更新とデータモデル ◆インデックスを使いこなす
	4.演習	3.5	【演習問題】
	計	21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

- ①技術評論社:SQL実践入門 高速で分かりやすいクエリの書き方

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・データベースのパフォーマンス向上のための各種施策について理解する。
- ・運用時のパフォーマンス低下を考慮した適切なDB及びクエリ設計ができるようになる。
- ・データベースへのクエリパフォーマンス向上の手段について、論理的に選択することができるようになる。

7. 前提知識

基礎的なSQL文について理解できていること。

【F20A】2日で学ぶネットワーク基礎技術

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

1~2
 FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
 9:30~17:30 2日間(14時間)
 7/10~7/11
 麻生教育サービス セミナールーム
 (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

ネットワークに関する知識を身につけたい方。

3. カリキュラムの概要

今や、インターネットは社会活動を行う上で必須の情報基盤となっています。そのしきみを支えるネットワーク技術について、実機演習を通して習得します。ネットワーク上の通信の基本からスイッチやルータなど通信機器の動作、さらにアプリを使って各種サービスを利用するしきみについて学びます。

4. カリキュラムの詳細

2日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. ネットワークの基礎	1.0	◆WANとLAN ◆WANの概要
	2. ネットワーク通信の基礎	1.0	◆回線交換とパケット交換 ◆通信のレイヤ構造とデータの 캡セル化 ◆OSI参照モデルとTCP/IPプロトコル
	3. LANの概要	1.0	◆MACアドレス、イーサネット ◆LANの規格、LANの機器構成
	4. TCP/IPプロトコル	4.0	◆ネットワーク層 -IPアドレス、サブネットマスク ◆トランスポート層 -TCPとUDP、ポート番号 -コネクション管理 ◆アプリケーション層 -DHCP -名前解決、DNS
	5. トラブルシューティングの基礎	2.0	◆よく使うネットワークコマンド ◆スイッチを用いたネットワーク構築演習
	6. IPアドレス	3.0	◆IPアドレスのクラス、IPアドレスの種類 ◆IPアドレスのサブネット化 ◆IPv4アドレス枯渇問題 ◆プライベートアドレスとグローバルアドレス ◆アドレス変換 ◆IPv6の概要
	7. ルーティング	1.0	◆ルーティングとは ◆ルーティングテーブル ◆静的ルーティングと動的ルーティング ◆ルーティングプロトコル
	8. 無線LAN	1.0	◆無線LANの規格 ◆無線LANのセキュリティ
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
 ※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「おうちで学べるネットワークのきほん」

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・インターネットのしきみが理解できる。
- ・ネットワークのトラブルシューティングができる。
- ・基本的なネットワークの構築ができる。

7. 前提知識

特になし

【F21A】2日で学ぶネットワーク応用技術

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:52,200円 (非会員価格:58,000円)
9:30～17:30 2日間(14時間)
9/4～9/5
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

職場や客先などのネットワーク構築に携わっている方、またはネットワークの知識を深めたい方。

3. カリキュラムの概要

IT技術者に要求されるネットワーク技術を、演習を通して習得します。企業内LAN構築に必要なVLANやスパンニングツリーなどのしくみについて学び、実際にネットワーク設計および構築を行います。

4. カリキュラムの詳細

		2日間	
	科目	時間	科目の内容
1日目	1. ネットワーク通信の基礎	2.0	◆通信プロトコルと通信のレイヤ構造、データのカプセル化 ◆OSI参照モデルとTCP/IP ◆MACアドレスとIPアドレス、ポート番号 ◆ルーティング ◆名前解決、DNS
	2. ネットワーク構築演習	5.0	◆トラブルシューティングに必須のネットワークコマンド ◆スイッチ、ルータを用いたネットワーク構築演習
2日目	3. IPアドレス	2.0	◆IPアドレスのクラス、IPアドレスの種類 ◆IPアドレスのサブネット化 ◆IPv4アドレス枯渇問題 ◆プライベートアドレスとグローバルアドレス ◆アドレス変換 ◆IPv6の概要
	4. ルーティング	1.0	◆ルーティングとは ◆ルーティングテーブル ◆静的ルーティングと動的ルーティング ◆ルーティングプロトコル
	5. ネットワーク設計演習	4.0	◆物理設計と論理設計 ◆ネットワーク設計の後、実際にネットワークを構築する
	計	14.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

「TCP/IPの基礎」

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・ネットワークのトラブルシューティングができる。
- ・ネットワークの設計および構築ができる。
- ・スイッチやルータなど通信機器の動作が理解できる。

7. 前提知識

「ネットワーク基礎技術」を受講済みであることが望ましい。

【A22】 **New !!** UnityとC#によるゲームプログラミング

1. 研修要領

・ITSS	2～3
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	74,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 3日間(21時間)
・研修実施日	7/2～7/4
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

基本的なパソコン操作と言語についての知識がある方

3. カリキュラムの概要

Unity環境でのゲーム開発について学ぶ。Unity内の物理シミュレーションやアニメーションを学習する。加えてC#の基本文法やオブジェクト指向の基礎について学習します。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. Unityとは	3.0	◆Unityの基本的な考え方 ◆利用できる環境
	2. C#言語基礎	4.0	◆Unityの開発環境 ◆C#の言語機能
2日目	C#言語基礎一つづきー	3.0	◆C#の言語機能 ◆Unityを使ったプログラミング ◆簡単なゲーム作成
	3. ゲーム作成	4.0	◆物理エンジン ◆スプライト ◆衝突判定
3日目	ゲーム作成一つづきー	3.0	◆Unityによるプログラミング ◆ロジック作成
	ゲーム作成一つづきー	4.0	◆ゲームの調整 ◆アプリの公開
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

Unityの教科書 Unity 2017完全対応版 2D&3Dスマートフォンゲーム入門講座

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・Unityとは何かを説明できる。
- ・C# の基本的な文法について説明できる。
- ・オブジェクト指向の基礎が習得できる。
- ・簡単な2D/3Dアプリ(ゲームなど)が作成できる。

7. 前提知識

基本的なパソコン操作と言語についての知識があること。

【F23A】C# ではじめるWindowsプログラミング

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

1～2
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
10/1～10/3
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

特になし

3. カリキュラムの概要

C#言語の基本文法に関して学習し、演習を通してプログラミングスキルを習得します。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	1. C# の基本文法	3.0	◆変数 ◆繰り返し ◆条件分岐 ◆オブジェクト指向 【演習】
	2. Windowsフォーム	4.0	◆Windowsアプリケーションの基本的な動作 ◆イベントドリブンプログラミング・イベントハンドラの作成方法 ◆演習
2日目	3. マウス、キーボード	3.0	◆マウスからの入力処理 ◆キーボードを使用した入力を適切に処理する方法 【演習】
	4. コントロール	4.0	◆コントロールとは ◆フォーム上のボタン、テキストボックスの配置 ◆メニューやダイアログボックス ◆ツールバーなどあらかじめ準備されているコントロール ◆便利なコントロールの利用方法 【演習】
3日目	5. データベース	4.0	◆SQLServerを用いてRDBの基本的な構造と接続方法 ◆作成するアプリケーションからRDBにアクセスするADO.NETを用いたプログラミング方法 ◆ADO.NETのコンポーネントの利用方法 【演習】
	6. 総合演習	3.0	◆これまでの機能を利用したプログラミングの総合演習
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

作って覚えるVisual C# 2017 デスクトップアプリ入門

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・C# の基本的な文法について説明できる。
- ・Windowsフォームアプリケーションについて説明できる。
- ・ユーザからの入力を受け取る方法について説明できる。
- ・各種コントロールの使い方について説明できる。
- ・データベースアクセスについて説明できる。

7. 前提知識

コンピュータの基礎知識

【A24】ASP.NET MVC (C#編)

1. 研修要領

・ITSS	3～4
・研修受講料(税別・テキスト代込み)	74,000円
・研修実施時間	9:30～17:30 3日間(21時間)
・研修実施日	10/10～10/12
・研修場所	麻生教育サービス セミナールーム (福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

ASP.NET開発者の方

3. カリキュラムの概要

フレームワークASP.NET MVCについて学習します。MVCはテストや標準技術をより使いやすくなっており、その利用方法を実際にサイトを作成しながら学習します。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	ASP.NET MVCの概要	2.0	◆旧来のWebフォームとの違い ◆主な特徴 ◆開発環境
	MVCの基本	3.0	◆プロジェクト ◆コントローラの基本 ◆ビューの基本 ◆モデルの基本
	Scaffolding機能	2.0	◆一覧画面、詳細画面の作成 ◆新規登録、編集画面の作成 ◆削除画面の作成
2日目	ビュー	2.5	◆Razor構文 ◆ビューヘルパー ◆レイアウト
	モデル	2.5	◆データモデル ◆マイグレーション ◆LINQ
	コントローラ	2.0	◆モデルバインド ◆ActionResult ◆状態管理
3日目	ルーティング	2.5	◆MapRouteメソッド ◆属性ルーティング
	クライアントサイドスクリプト	2.0	◆JavaScript, CSS ◆Ajax開発
	テスト、認証機能	2.5	◆単体テスト、様々なテスト ◆ASP.NET Identity
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

ASP.NET MVCプログラミング入門 (マイクロソフト関連書)

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

- ・ASP.NET MVCとは何かを説明できる。
- ・基本的なMVCモデルを理解し開発やテストが行える。
- ・ルーティングやクライアントサイドスクリプトを利用する方法を理解する。

7. 前提知識

ASP.NETの開発経験があること。

【F25A】 **New !!** Pythonの基礎と文章解析

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

2～3
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
10/23～10/25
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

他言語の経験があり、統計や文章解析に興味がある方

3. カリキュラムの概要

統計分野やAIなどで新たに注目を浴びているPythonについて、基本文法からライブラリの利用方法を学ぶ研修です。また、文章解析の方法と応用例についても学びます。

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目	Pythonの環境と基礎	3.0	◆Pythonとは ◆Pythonをとりまく環境
	基本文法	4.0	◆Pythonの基本文法 ◆変数、条件分岐、繰り返し ◆オブジェクト指向
2日目	テキストマイニング	3.0	◆テキストマイニングとは ◆要素への分割
	データ解析	4.0	◆データ解析の手法
3日目	データ解析	3.0	◆出現頻度の統計
	実例	4.0	◆実例 ◆その他のLibrary
		21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

Pythonによるテキストマイニング入門

(注)テキストは変更する場合があります。

[スケジュールへ](#)

6. 到達目標

- ・Pythonの基本的な文法について説明できる。
- ・テキストマイニングとは何かを説明できる。
- ・データ解析の手法を理解し、Pythonでデータ解析ができる。

7. 前提知識

他言語の経験があること。

【F26A】Gitでのソースコード管理とLinux仮想環境構築

1. 研修要領

- ・ITSS
- ・研修受講料(税別・テキスト代込み)
- ・研修実施時間
- ・研修実施日
- ・研修場所

【FISAタイアップ講座】

3～4
FISA会員価格:66,600円 (非会員価格:74,000円)
9:30～17:30 3日間(21時間)
11/19～11/21
麻生教育サービス セミナールーム
(福岡市博多区博多駅前3-25-24 八百治ビル4F)

[スケジュールへ](#)

2. 対象者

Linux仮想環境を構築して開発環境やテスト環境を利用する方

3. カリキュラムの概要

Gitでのソースコード管理と複数人や複数台のマシンでテスト用の仮想環境が必要な場合に有用なVagrantを使ってWindows環境上に簡単にLinux環境を構築する研修です。

※Git:分散型バージョン管理システム

4. カリキュラムの詳細

3日間

	科目	時間	科目の内容
1日目 2日目 3日目	仮想環境とは	4.0	◆仮想環境の利点 ◆VirtualBox ◆Vagrant
	GitHub	3.0	◆GitHubとは ◆GitHubの利用方法 ◆クローン
	Linuxの基礎	5.0	◆コマンドライン ◆ファイル操作
	Linuxサーバの設定	4.0	◆Apache ◆PHP
	ソースコード管理	5.0	◆PHPによる簡易プログラム ◆Gitでの共有
	計	21.0h	

※最低開催人数は4名とさせていただきます。中止の場合は、開催日の2週間前までにご連絡させていただきます。
※改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

ゼロからはじめるLinuxサーバー構築・運用ガイド 動かしながら学ぶWebサーバーの作り方

[スケジュールへ](#)

(注)テキストは変更する場合があります。

6. 到達目標

Vagrantについて説明し、仮想環境の構築ができる。

GitHubでソースコードの共有ができる。

Linuxサーバの簡単な設定ができる。

7.前提知識

プログラム開発経験があること。